

## 令和元年度 第3回 倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会 議事録

日時 令和2年2月6日(木)13時30分～15時00分

場所 倉吉市役所大会議室（本庁舎3階）

### （議事録）

- 事務局 ただいまより令和元年度第3回倉吉市定住自立圏共生ビジョン懇談会を開催したいと思います。早速ではございますが、開会に当たりまして会長よりご挨拶をお願いします。
- 会長 こんにちは。ご出席いただきましてありがとうございます。この時期らしい雪になりましたけども、多分三朝町やあるいは関金はかなり多かったんじゃないかと思えますし、私のいる湯梨浜や羽合のあたりはさほどでもないという。こんな小さな中部エリア一つとってもいろんな彩りがあるんだなと。それを一つにまとめる共生ビジョンということで、我々はちょっと復習しますと、7月に第3次の共生ビジョンをどう作るんだという勉強会をしました。そして10月に第1回目ということで事務局からたたき台というものが出されました。それについて皆さん方からいろんなご意見をいただいたり、宿題という形でご意見をいただきました。そして12月には素案が出てまいりました。またこれに対してご意見いただいたり、あるいはパブリックコメントというようなことで今日ご紹介があると思いますけども、いくつかの意見があって、今日最終案という形で出てきました。皆さんのご意見やパブリックコメント、あるいは事務局でいろんなことをチェックした部分を直して『これでどうだろう』ということで、できれば今日微調整くらいで終わられればありがたいという、そんな段取りまで来たと思います。一応3時までを目一杯としたいと思います。どうぞよろしくをお願いします。
- 事務局 それでは懇談会にうつりますが、まずは会議の要件についてです。本日の出席は委員18名中11名のご出席をいただいておりますので、懇談会の設置要綱の第6条第2項の規定により、委員の過半数の出席をいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。併せまして、同じ要綱の第6条第4項の規定によりまして、この会議は公開となっておりますのでよろしくをお願いします。続きまして、前段資料の確認をお願いしたいと思います。本日は資料、事前にお送りさせていただいたんですが、いろいろ修正点もございまして、本日改めて一式を机の上に置かせていただいております。まずはビジョン懇談会の式次第と配席図が載せてありますのが1枚と、参加者名簿が1枚。資料が1から4までと、後は最後にちょっとカラー刷りですけども委員さんの募集のチラシを挟まさせていただきますので、ご確認をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。そうしますと、日程の3番の協議事項に入らせていただきます。懇談会の設置要綱第6条第1項の規定によりまして、会長が議長になるということから、以降会長をお願いしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

- 会長 それでは3の協議事項(1)第3次鳥取県中部定住自立圏共生ビジョンの策定について、事務局から説明をお願いします。
- 事務局 資料は『資料3』を中心に説明をさせていただきます。お手元の資料1、資料2、いずれか見やすい方を見ていただきながら、説明を聞いていただければと思います。資料3でございますが、一週間ほど前に皆様にお送りをした資料から追記をした箇所につきましては網掛けをしております。その網掛け部分を中心に説明をさせていただきたいと思っております。まず整理番号1、6ページになります。6ページに中部圏域の転入者と中部圏域からの転出者というグラフを載せているんですけども、全員にお配りしたものが『転出者』『転入者』の順番となっております、こちらを『転入者』『転出者』に入れ替えたものでございます。続いて12ページでございます。路線バスの図を載せております。この中で『上中村線予約型琴浦バス』は修正が間に合っておりませんでしたので、修正をしております。続いて47ページ、こちらは大きな修正になってまいります。事業で八橋往来周辺の魅力創造発信事業というものがあつたんですけども、こちらを全部削除させていただきたいと思っております。担当課の方から今年度の春に1市4町の担当で協議をして、実質1市4町としての動きというものは特段ないということがございまして、削除するものになったものでございます。こちらの事業は平成26年度にビジョンに追記をされたものでして、追記をした際には八橋往来の研究事業ですとか、パンフレットを作ったりというような内容だったんですけども、実態としてはなかなか動きとして出なかったものになります。とはいえ、民間サイドの動きとして、例えばSUN-IN未来ウォークの八橋往来コースができたりですとか、そういう民間ベースでの動きが出てきてますので、そちらの方に委ねるといったものになります。続いて58ページになります。こちらは文言の軽微な修正になります。続いて62ページになります。移住情報の発信事業になります。第3次ビジョンを作成するに当たって、移住に力を入れるべきだろうということで、1市4町の担当で話し合いをして、こういった内容を盛り込んで内容を膨らませる形で計画を策定したところではあるんですけども、残念ながら今年度は予算獲得ができませんでした。そのため令和2年度627万9千円の予算と計画していたんですけども、第2次ビジョンと同額の50万円に変更しているものでございます。ただ、財政課からの指示では、できることからやっていきなさいということがございまして、内容については、予算が無い中ではあるんですが、できるところから始めていきたいと考えております。そういった中で今年1年、1市4町で連携を深めまして、来年度また新たな項目や内容を修正していこうというものでございます。続いて資料の4をご覧ください。パブリックコメントの実施結果をまとめたものになります。パブリックコメントは今年1月10日から1月24日までの15日間実施しております。皆様にお配りをした時から数が増えておりますので、新しいものを見ていただけたらと思います。件数は8件で、合計2名の方から意見をいただいております。一人目の方は琴浦町30歳代の方で、『中部を指す愛称を作って欲しい』という意

見をいただきました。対応としては、事務局といたしますか、会議体から愛称を作るのではなくて、住民側から自然発生的に愛称が誕生していくことを期待しているというような回答をする予定にしております。続いてページめくっていただいてもう一名の方、倉吉市で年代不詳の方です。同じ方から多くの意見を寄せていただいております。その中でも2ページが一番下の段ですけども、認知症クリティカルパスについてのご意見をいただいております。本体34ページ上の段、認知症診断システムの事業でございます。こちらの内容の文言について、平成25年10月から運用開始といった文言が古いのではないかとというご指摘でございます。そのため内容の意味は変えずに文章を修正する形で対応しております。その他のご意見につきましては、それぞれお答えはしているのですが、本文を修正するというものではございません。以上で説明は終わります。

○会長 今の説明に対してご質問等ありましたらお願いします。

○委員 62ページの移住情報の発信事業ですね、事業費がものすごく少なくて、50万円ということですけども。説明の中で『できるところからやるんだ』というご説明をいただきましたが、できるところというのは具体的にどういうところでしょうか。

○事務局 移住情報の発信事業について、できることについてご質問いただきました。できることにつきましては、例えば1市4町の空き家バンクを相互リンクしてお互いに紹介し合えるようなものを作っていくですとか、1市4町で一体的な移住情報の発信をするために、統一のバナーを作るといようなことでしたら、お金をかけずにできるのではないかと考えております。600万円ほどの予算の内訳には、1市4町で関西や東京圏に1市4町で出て行って移住の相談会をするというような費用が含まれておりました。これについては今回は予算が付きませんでしたのでできないんですけども、鳥取県主催でビッグ相談会というものが行われています。ビッグ相談会は鳥取県内の19市町村が東京や関西に出て移住の相談を受けたりするんですけども、例えばビッグ相談会で1市4町で連携をしながら1市4町の魅力を紹介していただくとか、そういったこともできるだろうということを考えております。

○委員 限られた予算でできるところからできるところまで、ということだと思んですが、そのできるところまでをですね、連携を取って知恵とかアイデアを出してですね、少しでも広げるようにぜひ頑張ってください。以上です。

○会長 他にはいかがでしょうか。

○委員 資料4のですね、このご意見をいただいたものの中の3ページの真ん中の段の『中部観光推進機構支援事業について』のコメントがあると思うんですけども、この方は何ていうんですかね、指標をもっと具体的に、実態に見合ったものを設定すべきだという風におっしゃっていて、その回答はこれが今中部エリアの観光入り込み数をされていて、これが僕あまり観光には詳しくないんで分からないんですけども、これとは別に地方創生総合戦略に関わる地域再生計画においては、進捗というのが他のやつがKPIに設定されているということですが、関連性が地方創生総合戦略会議のものとは今回の中部

で設定したK P Iとは関係性があつてこれを表記されているのか、そもそもちょっと関係性がないんだったら書くべきじゃないかなと思ったんですけども、その辺をちょっと説明していただけたらなと思います。

- 事務局 地方創生総合戦略との関係性についてご質問いただきました。1市4町の定住自立圏の計画と地方版の総合戦略が連携をしているというわけではございませんので、おっしゃるとおり書きすぎであると思います。書き方を工夫していきたいと思います。総合戦略という言葉を使わずに、他の指標をしっかりと見ているというような書き方をしていきたいと思います。
- 委員 このコメントを書かれた方の言わんとしていることは、この中部観光推進機構支援事業というのがおそらく委託になるんですかね。この外郭団体に対して。この観光入り込み客数のK P I自体がこの機構自体の評価に繋がるのかというご指摘だと思うんですね。なのでコメントされている方、ホームページは多分機構がされているホームページだったりとか、機構が企画されているツアーとかを見て機構自体がどんな活躍をされているのかを判断された方がいいんじゃないかということで、ちょっと今共生ビジョンで示されているK P Iだと、ちょっとぼんやりしすぎているんじゃないかというご指摘だと思うので、ここはちょっと考慮して考えるべきかなという風に思います。
- 事務局 おっしゃるとおり委託事業で実施をしております、指標としては観光入り込み客数というものになるんですけども、毎年皆様に実績を報告させていただくときに、備考欄にホームページの閲覧数ですとか、何か活動のアウトプットと言いますか、そういったものが判断できるような数字を追記をしながら説明をしていきたいなと思っております。
- 会長 他に何かありますでしょうか。事務局は最初から今日ポイントだけ言われたんですけど、1から18まで簡単に流されてはどうでしょうか。
- 事務局 それでは資料3の説明を追加させていただきたいと思います。資料3のまず16ページでございます。16ページの3です。「市街地での空洞化」という表現が何の空洞化なのか分かりづらいと事務局サイドで判断をいたしまして、「市街地での店舗の空洞化」という形にしております。続いて23ページの表です。誤植がございましたので修正をして入れ替えをしております。続いて37ページ。軽微な修正ですので説明を省略させていただきます。続いて45ページ、協定書の文言の修正について役所の中で表記を統一してはどうかと意見が出たのですが、文書法規係に確認したところ、特に問題はないというような判断でございました。またこの協定の内容が議決されている文書でございますので、いったん議決されているものを軽微な修正として変えるのもどうかというところのご指摘も受けまして、現状維持としているものでございます。続いて49ページ、企業誘致の推進の事業です。こちらは関西事務所の文言を修正をしております。これまでは琴浦町が関西事務所を設置しておられたんですけども、琴浦町さんが関西事務所を撤退されまして、現在は倉吉市が関西事務所を置いているのみになって

おります。これまでは倉吉市と琴浦町でそれぞれ関西事務所を持っておりましたので、双方連携しながらやっということを書いていたのですが、琴浦町さんが撤退をされたことを受けまして、倉吉市の情報を4町と共有しながら連携していくという主旨に捉え直しまして、『甲の役割としては乙の関西事務所と連携して』という文言を『乙と連携して』というふうに変えております。また、乙の役割としては、「括弧※3は琴浦町に関する協定です」というものを削除して、1市4町全てで読めるような文章に変えたものになります。続いて50ページですが、先ほどの説明と関連をして、表の中の文章を変えております。説明は以上になります。

- 会長 今のところを含めて、あるいはそれ以外のところ、お気づきのところがあればおっしゃっていただければと思います。はい、じゃどうぞ。
- 委員 このビジョンの目的は1ページにあるように、『圏域の将来像とその実現のために必要な、具体的な取り組み』ということがあるんですが、5年後、10年後ですね、中部・倉吉ということを見た場合にですね、例えば山陰道が、鳥取市は25万擁する圏域と20万擁する地域と、68万、本州で2番目に人口密度の多い中海圏、中海宍道湖が68万とあるんですが、わずかに1時間半、2時間弱、1時間半で結ばれるということが令和8年にはあるとなった場合、結構倉吉から倉吉を素通りして鳥取—米子、鳥取—松江間の行き来がかなり、今でも米子美術館には鳥取市の人が多いと言った中にですね、この72ページにネットワークですね、道路ネットワークの整備というのが課題の中にあるんですけども、いい道ができてしまうと、中部が埋没すると。例えば鳥取圏の西部地区、米子圏の東部地区といったことになりはしないかということをお心配しております。それには、中部にしかないもの、美術館とか赤瓦とか、そういったものを連携で中部の存在感アップが本当に必要だと思います。今朝来る前に調べたんですけど、この市役所から今度令和8年に羽合バイパスができると。倉吉市のメインの道路は駄経寺から田後の4車線です。田後からさらに羽合バイパス間の令和8年にできます。美術館ができた2年後にできます。この本庁舎からでも羽合インターまでは9.6kmと非常に遠いと、遙か向こうに山陰道が走ってしまうといった場合、この中部である倉吉はどういう立ち位置になるだろうかということをお非常に危惧しております。この道路ネットワークとプラス既存の設備、新しい設備ですね。この間も旧市内を見ると第2庁舎ができてかなり町がね、人の流れがよくなったと。旧市内がよくなったとちょっと聞くんですけどね。フィギュアミュージアムとか打吹回廊とか第2庁舎とか美術館があつて、そういうところの存在感をですね、もっと増すようなあれば倉吉中部の核は倉吉ですので、倉吉中部地区の存在感が高まると言うことで、交通ネットワークプラス連携した設備が大事。そういうことをちょっと目指した方がいいかなと個人的に思います。以上です。
- 事務局 道路というのは本当に諸刃の剣というかですね、出て行く危険性もありますし、入ってくるメリットもあると言うところがございます。この中部圏域ではご案内いただきましたとおり、令和6年に県立美術館がオープンするということもありますの

で、そのアクセス道として羽合バイパスは大変期待をされているところですし、また南からのアクセスとして北条・湯原道路の整備も進んでおります。そういったところが流出人口ではなくて流入人口を増やすような取り組みとして使っていただけるようにしっかりやっていきたいと思います。

○委員 21 ページの方にですね、暮らし良さって言葉が出てくるんですけども、あまり個人的には聞き慣れない言葉なんですけど、このページだとよく使われていて、『暮らし良さ』ってのは何かのキーワードか何かなんですかね。住み心地とかそういうようなことなのかなと思うんですけど。あんまり日常的な言葉で聞かないので、ちょっともしそういう言葉遣いをされる機会とか、どういうところで、ネットで調べたら雑誌か何かのランキングかなんかで暮らし良さランキングみたいなので出てくるくらいで、他ではあまり使われない言葉なんですけど、どうなのかなというのでちょっと読みやすさという観点で質問させていただきました。

○事務局 暮らし良さの言葉についてご質問いただきました。これはかなり倉吉に引っ張られている言葉だと思うんですけど、『倉吉→くらしよし』というところからの文章かなというところになります。ご指摘の通り雑誌の住み良さランキングで大変高い評価も得ているというところもあって、暮らし良さという言葉を使っているものです。事務局サイドとしては全く違和感なく使わせていただいております、どうしてもと言うことであれば。

○委員 逆にですね、これは変えちゃならない。暮らし良し。倉吉であるからして、そしてまた倉吉を中心としたこの圏域のビジョンであるからしてですね、これは暮らし良し。とても大事にしていく必要のある言葉だと思っております。NHKが使うその標準語ではなくてですね、倉吉が中心となって作るビジョンであるからして、これは自信を持って声を大にして掲げたい言葉であります。

○会長 他にはよろしいですか。じゃ、概ね今のご意見も斟酌すべき場合があれば、けど大筋事案もこの通り行きたいと思います。じゃ、協議事項の括弧の2、その他何かありますか。

○事務局 ご審議ありがとうございます。今後スケジュールも含めてご説明させていただきたいと思います。今後このビジョンは1市4町でもう一度中身を精査をし、議会にかけていきたいと考えております。協定書が変わる項目が合計4カ所ありますので、1市4町で議決を経て最終確定というものになります。時期的には3月の末になってまいります。今後、もしかしたら文言の軽微な修正が入ってくる可能性があります。その際は事務局と会長一任で修正をさせていただけたらありがたいと考えていますのでよろしく申し上げます。

○会長 じゃ、先ほどあったように軽微な部分は事務局と私の方でお任せをいただくということと、最終的には3月の下旬ということですね。皆さん方から何かありますか。

○委員 これはパブリックコメントの最後にもあります、全般的に資料が多く市民に分か

りやすい形にまとめられていないというご指摘がありますが、当然あらゆると言いますか、かなり幅広い観点からまとめられたビジョンですので、こういう冊子になるのは当然です。ただお願いしたいのはですね、これはあくまで要望です。1市4町類義結合決まった後ですね、できましたら予算の都合もあるでしょうけども、ダイジェスト版みたいなものを作っていただいて、1市4町の住民が共有できるような、そういうダイジェスト版を作っていただいて、各戸に配布できるような体制をしていただければという風にお願いでございます。よろしく申し上げます。

- 会長 他にはいかがでしょうか。はい、お願いします。
- 委員 今回1年通していろいろビジョンを検討していただいたんですけど、今日の朝日新聞で地域面のところで鳥取市のいろんな事業の監査を今されているところで、何ていうんですかね。婚活のサポートセンターの費用対効果があまりにも低いというふうなことが指摘をされていて、鳥取市さんもすごい大きな自治体で取り組まれていると思うんですけども、それでもなかなかうまくいっていないという現状があって、鳥取県自体は島根県と一緒に共同でされているということもあるんですけども、今後こういうふうな経済的な自治体の規模というのが維持・もしくは小さくなっていくところでどこにお金をかけていくのかというのは考えざるを得ないところで、この共生ビジョンの方でも婚活のサポートをされていますけど、今回は1年間通してしっかり考えて出した答えなのであれですけど、また今度検討すべき時にはそういうふうな費用対効果とかも考えないと行けないのかなと思いましたので、最後にちょっとご指摘させていただきます。
- 会長 他にいかがですか。じゃ、共生ビジョンに関してはここまでで、4番目のその他で事務局から何かありますか。
- 事務局 皆様にお配りをしております住民委員募集のチラシがございます。委員の任期が令和2年3月31日まででございますので、新たにビジョン懇談会の住民委員の方を募集をいたしております。各市町から1名ずつ募集をしております。ぜひ皆様引き続きお願いできたらなと思います。またそれぞれ各種団体からご推薦をいただいております委員の皆様につきましても、改めて推薦の依頼のお知らせをさせていただきたいともいますので、引き続きよろしく申し上げます。
- 会長 先ほども費用対効果の話がありましたけど、ぜひこの委員会の一つのミッションとしてこれを作りっぱなしじゃなくて、その後どうなんだというチェックもぜひしていければと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。もう一つ何かあったんじゃないかなかったですか。
- 事務局 もう一つご案内したい内容がございますので、これから資料を配ります。しばらくお待ちください。  
(資料配付中)
- 事務局 SDG s 研修会のご案内をさせていただきたいと思います。SDG s という言

葉を聞かれたことがありますでしょうか。これは2015年の9月に国連のサミットで採択をされた『持続可能な開発目標』という、17の目標を達成していこうというものなんですけども、世界、また日本でSDGsの推進というものが言われています。この倉吉市、また中部圏域においてもSDGsというものを意識した町作りというものが求められています。先日では琴浦町さんでSDGsの研修会が行われたり、三朝町さんでもSDGsの研修会が行われています。このSDGsというものをしっかり理解をし、それぞれの町作りに活かしていこうということで、このたび倉吉市で研修会を開催することになりました。内容としてはリコージャパン株式会社さんのご協力をいただいて、SDGsの概要の話と、SDGsの理解を深めるためのカードを使った演習とワークショップというものです。ちなみにリコージャパン株式会社さんは、昨年12月の日本経済新聞のSDGsの特集記事で、日本の企業のSDGs偏差値で70以上、これが3社しかなかったんですけども、その中の一つに選ばれていて、大変先進的で大規模な取り組みをされている企業でございます。案内としては市の職員であったり倉吉市の総合戦略の委員さんを中心に行っているんですけども、幅広に参加いただきたいということがございまして、今回皆様にご案内をさせていただきました。2月18日の火曜日、13時30分からこの会場で行いますので、ぜひご都合をつけていただきましてご参加いただけましたらありがたいなと思います。参加に当たっては倉吉市企画課までご一報いただければ大丈夫でございますので、ぜひよろしく願いいたします。準備の都合もありますので、事前の申し込みをいただけたらありがたいです。

○会長 以上ですか。後ろの方に各町から4町からおいでですから、何かいっておきたいことがあったら何なりと。どうぞ。

○琴浦町（企画政策課） この場をお借りしてちょっとPRなんですけども、地方創生推進交付金を使わせていただきまして、熱中小学校というものを行っております。廃校になった校舎を使って毎月1回、大人の社会塾といった言い方をしているんですけども、全国的に著名なコーチの先生に2人ずつ来ていただいて、毎月1回授業を2コマずつやるというものなんですけども、授業料をいただいて入学していただくという形を取っているんですけども、このたび2月22日にオープンスクールという形で実施します。参加無料です。今回については別府市の職員で海外を転々とされていた阿部先生という先生や、角川アスキー研究所で昔ありました月刊アスキーの編集長をされていた遠藤先生という二人の先生の授業を予定しているんですけども、もしご都合がつくようでしたら、浦安駅前にあるまなびタウン東伯で今回は実施しますので、良かったら覗いてやってください。以上です。

○会長 湯梨浜町さん、何かありますか。別にコマーシャルする必要はないので。

○湯梨浜町（企画課） 特に湯梨浜町でPRすることはないんですけども、本日共生ビジョン懇談会が最後と言うことで、ほぼ共生ビジョンができあがったと言うこととさせていただきます。これは先ほどのスケジュールでもありましたけど、各市町としましたら3月の議

会にですね、提案し、また可決をいただくという作業が出てきますので、市に指示された結果がですね、うまくこちらの方も議会の方に説明し、発揮できるようこれから尽力してまいりたいと思います。よろしく申し上げます、以上です。

○会長 三朝町さんいかがでしょうか。

○三朝町（企画課） 梨浜町にまとめられていますのでうちも頑張りたいと思います。

○会長 北栄町さんいいですか。よろしいですか。それでは倉吉の方から何かありますか。もういいですか。じゃ、皆さんよろしゅうございますか、これで終わらせていただきます。どうもありがとうございました。3回にわたりいろいろご意見をいただきました。ぜひ今度はこれを実現するようによろしく申し上げます。終わります。

(以上)